

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ～小学校社会科～

第3学年単元名 市のようすのうつりかわり(第1/11時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

市の様子の時期による違いに着目して、問いを見だし、学習問題をつくる。(思考力、判断力、表現力等)

こんな授業になっていませんか？

【教師の発問】

写真を見て、気付いたことを何でも書きましょう。



昔と現在のまちの写真を見せて、それぞれの写真について気付いたことを言わせれば、学習問題がつけられそうぞ。

【資料】



昔の市の様子



現在の市の様子

【児童の反応】

気付いたこと…？
どんなことでもいいのかな？



昔も車が走っている。



どちらも信号機がある。



違う建物が建っている。

教師が着目する視点を示さなければ、児童は資料のどこに着目すればよいか不明確なまま、意見を言うことになります。これでは、変化(移り変わり)を意識した学習問題はつくれず、社会科の深い学びにつながりません。

「見方・考え方」を働かせる意識をフラス！

「社会的事象の見方・考え方」とは

※小学校社会科の各学年の目標においては、「社会的な見方・考え方」を「社会的事象の見方・考え方」と表記しています。

社会的事象を、

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、

→ 視点

比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

→ 方法

児童が「見方・考え方」を働かせるためには

「問い」と「資料」を工夫して、児童が考えを深められる学習活動を設定しましょう。

社会科は、社会的事象から学習問題を設定し、その解決に向けて調べ、考えたり選択・判断したりして表現し、社会生活について理解したり、社会への関心を高めたりすることが大切な教科です。そのために、問題解決的な学習過程を充実させることが重要です。

教師が教材研究をする際には、その単元で働かせたい「見方・考え方」を確認し、視点や方法に基づいた「問い」を意識することが大切です。「なぜ」「どうして」「いつ」「どのように」のような観点での「問い」を児童にもたせて、主体的な問題解決学習ができるように、単元全体を見据えた構成を考えながら、教師の発問を工夫していくことが重要です。

また、どのような資料にするか、どのように資料を提示するかも重要です。児童が資料のどこに着目して何を読み取るのか、調べたことからどのように考えるのかを意識しながら資料を吟味します。

さらに、児童が自分の考えを深められるような学習活動を構想することも大切です。社会的事象の意味や特色を多角的に考えることができるように、対話的な学習活動を効果的に取り入れるなどの工夫が必要です。

授業を こう変える！

- ・教師が視点や方法を意識した発問を工夫することで、児童に「問い」をもたせ、写真を比較し、交通や建物に着目させたり、変化(移り変わり)に気付かせたりして、考えられるようにする。…①
- ・資料を吟味し、市の様子が大きく変わった時期の写真を3枚用意して提示することで、時期による違いに着目して変化(移り変わり)を読み取ることができるようにする。…②
- ・個人で調べたり考えたりした後に、班で交流する学習活動を取り入れることで、自分では気付かないような多様な視点に気付くことができ、社会的事象の特色や意味などを多角的に考えられるようにする。…③

このような授業にしていきたいと思います！

【視点を意識した発問の工夫】…①



市の大通りの3枚の写真を比べてみると、まちの様子はどのように変わってきているでしょうか。交通や建物の様子に注目して調べましょう。

【変化を読み取らせるための資料提示の工夫】…②



60年前の市の様子



30年前の市の様子



現在の市の様子

道路がだんだんよくなっているよ。60年前は幅が狭くて歩道がないけれど、30年前には歩道ができていますよ。現在は地下道もあるね。なぜ地下道をつくったのかな？

個人で考える



建物の様子が変わってきたね。60年前は、2階建ての建物が多いけれど、30年前は建物が密集していて看板もたくさんあるね。現在は大きなビルが建っているよ。何の建物かな？



よいところに気が付きましたね。交通や建物の違いを比べてみると、まちの様子がどのように移り変わってきたのかがよく分かりますね。

それでは、気付いたことや疑問について班で意見を伝え合いましょ。

〈児童の姿〉

交通や建物などの様子について、時期による違いに着目して比較しながら変化(移り変わり)を捉えています。

教師は、児童が見方・考え方を働かせている発言を取り上げて称賛することで、自覚できるようにします。

【多角的に考えるための対話的な学習活動の工夫】…③

道路の幅がだんだん広がっているよ。多くの自動車が走るために必要だったのかな？

班で交流する



大きな建物がどんどんできたよ。市に住む人も増えてきたのかな？

市の様子が変わってきたことで、人々の生活の様子も変わってきたのかな？

〈児童の姿〉

自分が気付かなかった視点や多様な考えに触れることで、様々な疑問が出てきます。時期の違いに着目しながら市の様子の移り変わりについて、友達の意見を基に多角的に考えています。

現在は、高速道路や鉄道も通っているよね。いつ頃できたのだろう？



みなさんの気づきや疑問から、単元を見通す学習問題をつくりましょう。

学習問題

わたしたちの市やくらしのようすは、どのようにうつりかわってきたのだろう。

ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

単元の「まとめる」場面(第9・10時)で

年表



市の様子や人々のくらしは、どのように変わってきたのでしょうか。学習したことを基に、年表にまとめましょう。

高速道路や鉄道ができたころ、人口も増えて、市は大きく発展してきたんだね。



〈児童の姿〉

市の移り変わりや人々の生活の変化に着目して、学習してきたことを総合したり関連付けたりしながら、年表にまとめています。